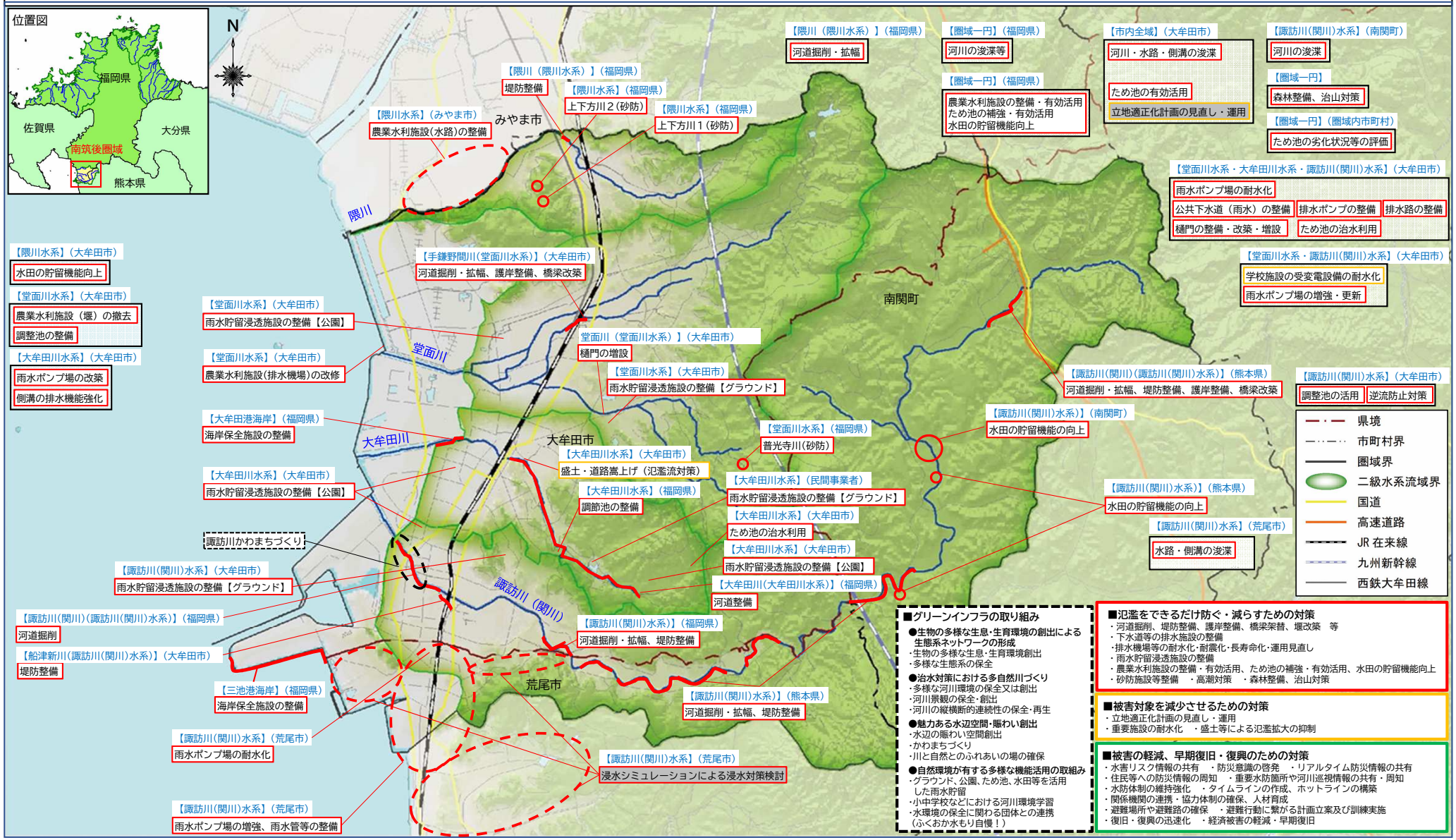
二級水系
流域治水プロジェクト

南筑後圏域　流域治水プロジェクト【位置図】

～明治日本の産業革命を支えた地域を水災害から守る圏域が一体となった流域治水の推進～

福岡県

- 令和元年東日本台風では、全国各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、福岡県の南筑後圏域においても事前防災対策を進める。
- 本圏域は、干満差が日本一大きな有明海に面しており、下流部の低平地は潮位の影響を受けやすく人口・資産が集中している。洪水氾濫が発生すると甚大な被害が生じる本圏域の特性を踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域治水の取り組みを推進し、浸水被害の軽減を図る。
- 自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの考えを取り入れ、災害リスクの低減に寄与する生態系の機能を積極的に保全又は再生することにより、生態系ネットワークの形成に貢献しつつ、流域治水に取り組む。



：R7年3月までに完了

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。